

第4話:「自然と共に生きよう」の巻



自然は人が生きていくために必要なものを提供してくれてるのよ

水や食料

酸素の生成 (CO₂の吸収)

癒し

気候の安定

CO₂

O₂

⑨

洪水の防止

自然と共生しながらその恵みをしっかりと活かしていくことが大事なの

その自然が与えてくれる恵みのひとつに「再生可能エネルギー」があるの

⑩

「再生可能エネルギー」って？

太陽光、風力、水力
地熱、潮力や
バイオマスの
エネルギーのことよ

⑪

バイオマスって何？

⑫

木くずなどの有機性資源からも電気や熱を生み出すことができるの

つまり、身近にあるものを上手に生かしていこうってこと

⑬

3R

①リデュース (減らす)
②リユース (くり返し使う)
③リサイクル (再資源化)

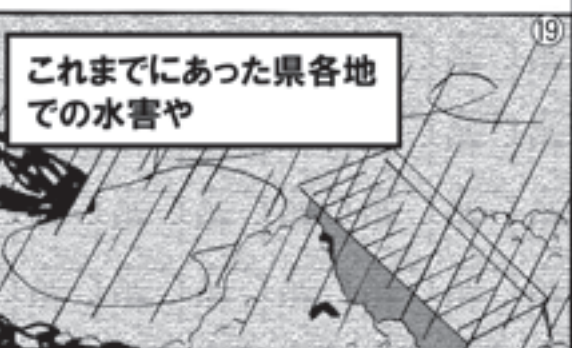
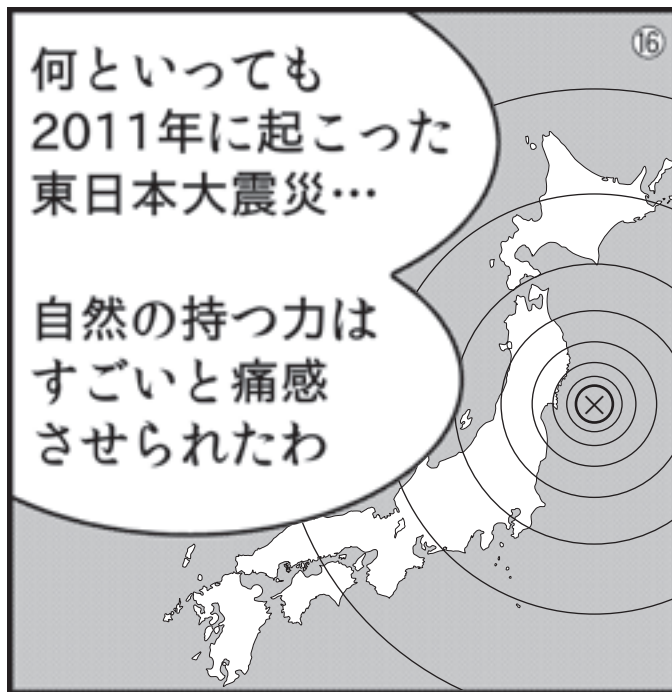
コウノさん、ゲンキが難しすぎて気絶した～

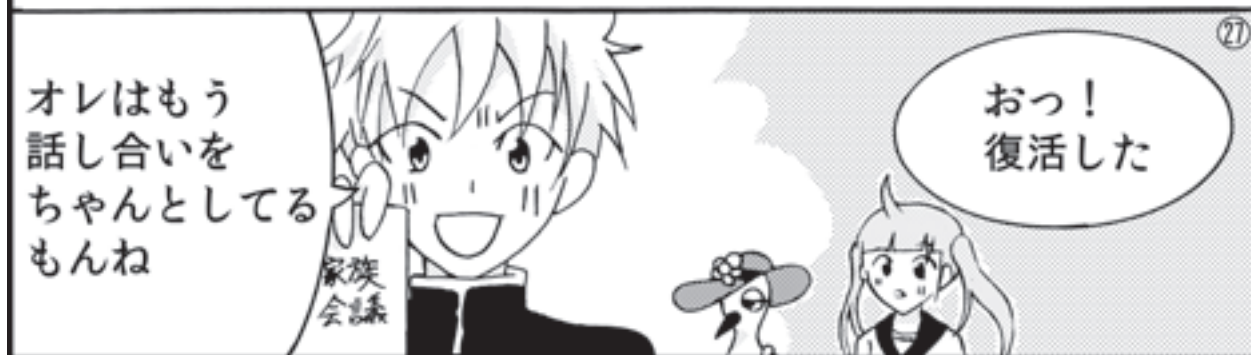
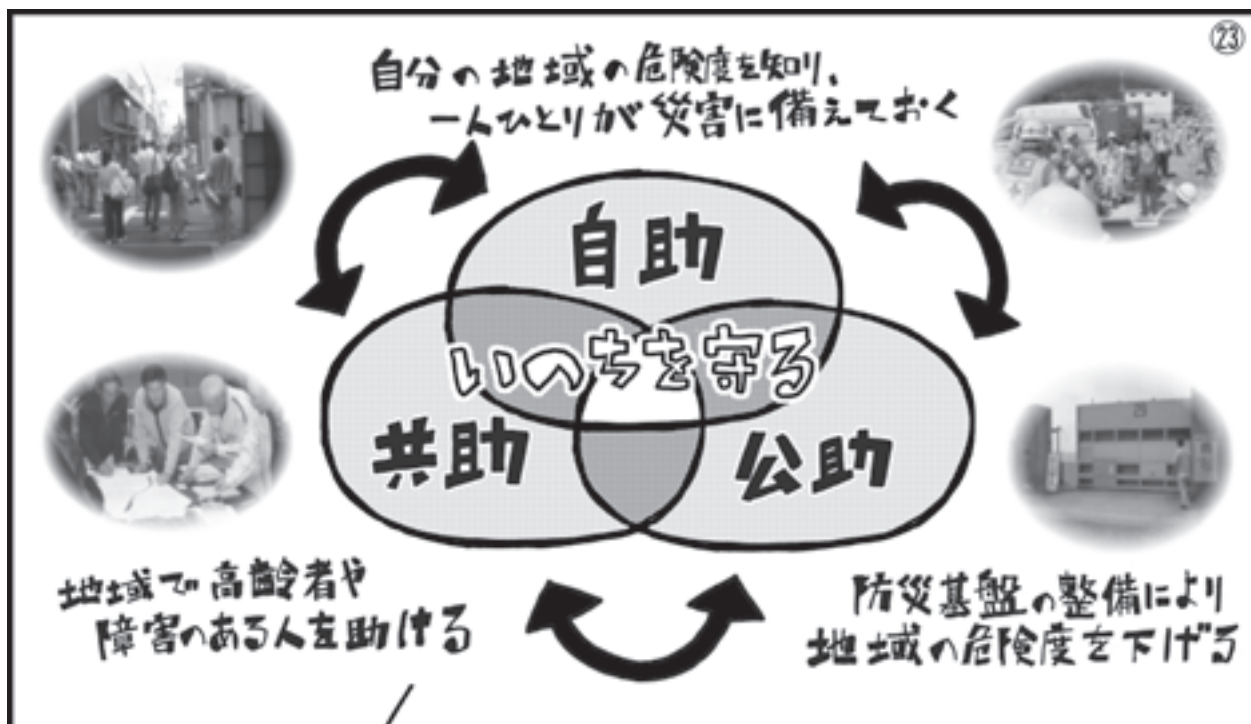
⑭

でも、自然は私たちに恵みを与えてくれる反面、

キバを剥くこともあると思うけど…

⑮





環境優先社会

兵庫のめざす「環境優先社会」とは、どんな姿？

めざす将来像 7 人と自然が共生する地域を創る



私たち但馬のコウノトリのように、人と自然との共生が進んだり、生物の多様性が確保されて、自然の恵みを無駄にしない社会になっているの。上流と下流など地域どうしがいっしょに自然を守ろうという考え方が広まって、多くの人関わっているわ。

- 都市部の住民・企業などが主体的に多自然地域の自然環境を管理している。
- 多くの担い手が育ち、森林や農地が適切に管理されている。
- 自然からの恩恵を意識した自然の適切な保護管理が進んでいる。
- 地産地消、資源循環が地域で有効に行われている。



めざす将来像 8 低炭素で資源を生かす先進地を創る



電気などのエネルギーを地域の中でつくるしくみが広がって、無駄のないエネルギーの使い方も定着しているんだ。温室効果ガスをできるだけ出さないまちづくりが進んでいるし、限られた資源を地域で繰り返し使うような兵庫になっているよ。

- 空間と資源を有効活用して、太陽光などの再生可能エネルギーでの発電が拡大している。
- 住民、企業が率先して低炭素な取組環境をつくっている。
- 工場などからの排熱が創エネ・省エネに有効活用されている。
- モノや資源が再利用され、地域特性に応じたグリーンビジネスが定着している。



めざす将来像 9 災害に強い安全安心な基盤を整える



地震や津波、洪水や土砂くずれなどの自然災害に強い兵庫になってるわ。自然災害だけでなく、大きな事故や感染症への危機管理もしっかりしているの。誰もが住んでいる地域の災害の危険度を知っていて、地域で助け合おうという意識も高まっているわ。

- 防災・減災の社会基盤整備（ハード整備）といのちを守る避難対策（ソフト整備）が十分なされている。
- 事故や感染症、災害に際し、社会や経済の活動が継続できる体制が整っている。
- 住民と行政の連携で地域で災害弱者を守るしくみができている。
- 防災意識が家族や近所で共有されている。



みんなで取り組む 協働シナリオ7

人と自然が共生した持続する地域づくり

- ◆上流と下流が手を取り合い、森・川・里・海の自然環境を一体で管理できるしくみをつくろう
- ◆森林や農地の荒廃を防ぐ管理のしくみや担い手をつくろう
- ◆自然の恵みを「見える化（認知）」させ、環境資源を保全・創造する意識を高めよう
- ◆野生動物の計画的な保護と獣害対策で個体数を適切に管理しよう
- ◆農林水産物の地産地消を拡大・定着させよう



地域の森林保全活動に企業が参画しているの。多様な主体による広域での自然環境保全のしくみの例のひとつね。



みんなで取り組む 協働シナリオ8

低炭素・省資源による自立した地域づくり

- ◆地域でつくるエネルギーを組み合わせた地域自立型のエネルギー構造を築こう
- ◆家庭内発電、エネルギー自立型住宅の普及など、暮らしの中にグリーンシステムを広げよう
- ◆自動車の共同使用の普及や、電気自動車など環境対応車の基盤整備をすすめよう
- ◆リユース・リサイクルなど、地域で持続する資源循環のしくみをつくろう



回収廃食用油のバイオ燃料化に取り組むあわじ菜の花プロジェクト。地域で取り組む資源循環が大事だね。



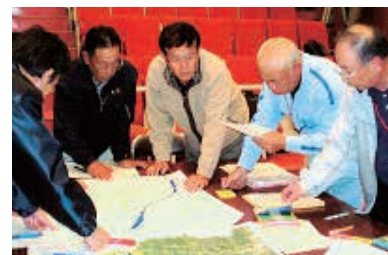
みんなで取り組む 協働シナリオ9

災害に強い安全安心な地域づくり

- ◆東海・東南海・南海3連動地震などに対し、最新の知見や歴史の教訓を踏まえた災害に強い防災・減災体制を築こう
- ◆大規模事故や原子力災害、感染症に備えた応急活動の連携強化や、危機管理、避難・防護対策をすすめよう
- ◆関西広域での防災・支援体制の確立や、住民と行政などの協働により地域防災力を向上させよう
- ◆家族での防災手帳づくり、地域での防災計画づくりなど、自分たちで身を守る自助の意識を伸ばそう



災害時の要援護者を地域の人たちで支えるマップづくりの様子。減災を支える共助の姿だわ。



次は、「多彩な交流社会」を見てみよう！